

# JICAのアフリカ農業支援

## 稲作振興

### 生産

- 生産性が低い
- 気候変動の影響

### 加工

- マーケティング
- 加工技術・設備

### 流通

- 流通時のロス
- 道路アクセス

## 市場志向型農業

### 販売

- 情報の非対称性
- 長い流通チャネル

### 消費

- 食料の安全保障
- 慢性的な栄養不足



稻作振興

(Coalition for African Rice Development: CARD)

# アフリカ稲作振興のための共同体: CARD

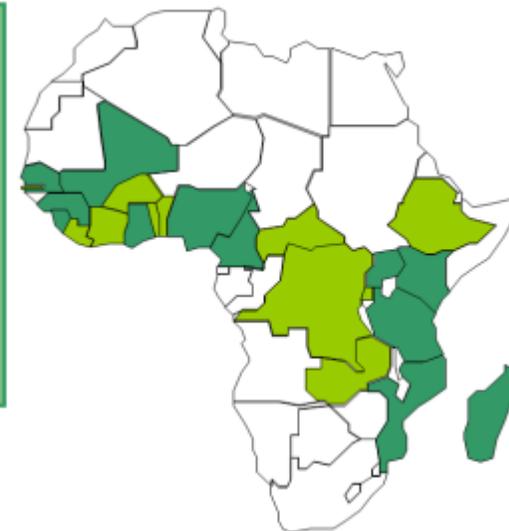
## (Coalition for African Rice Development)

- CARD立ち上げの背景: 1990年代後半以降の**需給ギャップ**拡大、中長期的な**域内生産拡大**の必要性。
- TICAD IV(2008年): **コメ生産拡大へのイニシアチブ**としてJICAとAGRAが共同で発表。

目標: サブサハラ・アフリカの  
コメ生産量**倍増**  
(1400万t→**2800万t**)

### CARD対象国

【第1グループ】  
カメルーン  
ガーナ  
ギニア  
ケニア  
マリ  
モザンビーク  
ナイジェリア  
セネガル  
シエラレオネ  
タンザニア  
ウガンダ  
マダガスカル



【第2グループ】  
ガンビア  
リベリア  
コートジボワール  
ブルキナファソ  
トーゴ  
ベナン  
中央アフリカ  
コンゴ民  
ルワンダ  
エチオピア  
ザンビア



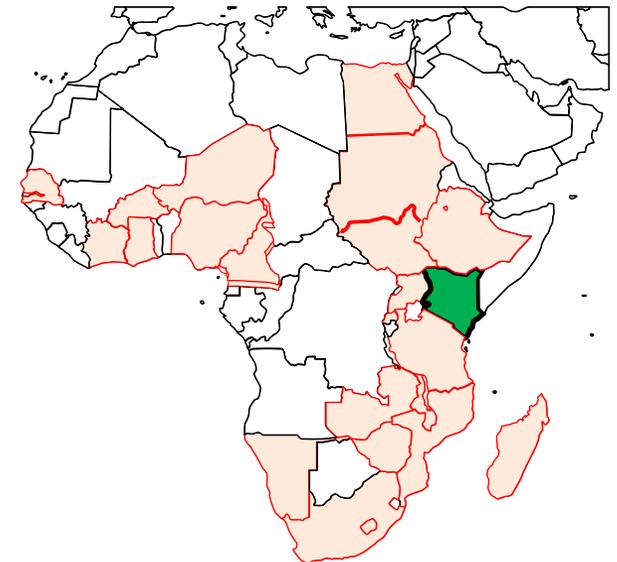


市場志向型農業  
(Smallholder Horticulture  
Empowerment & Promotion  
Approach: SHEP)

# 小規模農家向け市場志向型農業振興 (SHEP)アプローチ

- TICAD V(2012年): 安倍首相のオープニングスピーチ  
「『食べるため』から、『**稼ぐため**』の農業に」
- **23カ国**を対象に、**1,900人**の技術指導者育成、**42,468人**の  
小規模農家育成。

SHEP対象国(アフリカ域内)

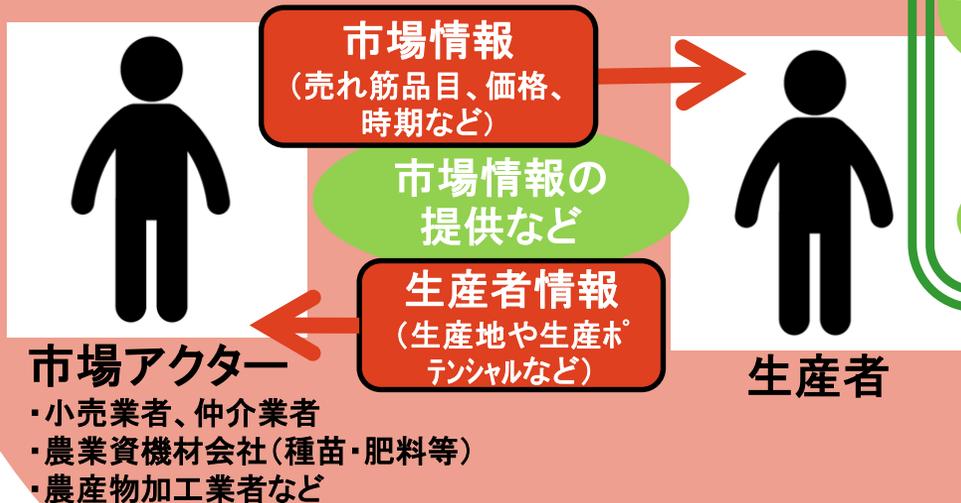


- アプリゲーム「Fun Fun Farming」
- 民間企業(三井物産、ETG社)との連携

## 「作って売る」から「売るために作る」への意識変革

### ビジネスとしての農業の推進

関係者がそれぞれの持つ情報を提供しあうことで、地域経済の効率化を図る  
(情報の非対称性を緩和)



### 人が育ち、人が動くための活動デザインと仕掛け

内発的な動機(モチベーション)を高めて活動を継続させる(自己決定理論)  
~3つの心理学的欲求を充足~



#### 自律性(Autonomy)

自分の欲求や好奇心、興味に基づき自発的に考え、課題に取り組む

#### 有能感(Competence)

課題を自分の力でこなす達成感により、自分が有能であるという実感を持つ

#### 関係性(Relatedness)

他者と関わり合い、繋がり、思いやりを持って、共に行動を起こす

# SHEPに基づく主な農業普及活動

## 市場調査:

- ・営農計画をたてるため、農家自身が市場に行き、高く売れる種類・時期・品質など、市場のニーズを調査(小農にとって目から鱗の情報が一杯)。
- ・直接的なコミュニケーションを通じ、関係者との信頼関係が構築。



## お見合いフォーラム:

- ・種苗、肥料、農薬、農業機械や金融機関など、農業に関わるステークホルダーと意見交換を実施する場。
- ・農家は「高く売るため」の様々な選択肢を知る機会。農業への「投資」の重要性も理解。



## 栽培技術研修:

- ・市場調査を経て、小農自らが栽培することに決めた作物の技術研修を実施。
- ・小農自身が調査し、栽培することを決めた作物・品種に関する研修のため、学びの姿勢が通常と異なり、技術の習得度・実践度・定着度がUP!



# JICAのアフリカ農業支援

## 稲作振興

### 生産

- 生産性が低い
- 気候変動の影響

### 加工

- マーケティング
- 加工技術・設備

### 流通

- 流通時のロス
- 道路アクセス

## 市場志向型農業

### 販売

- 情報の非対称性
- 長い流通チャネル

### 消費

- 食料の安全保障
- 慢性的な栄養不足